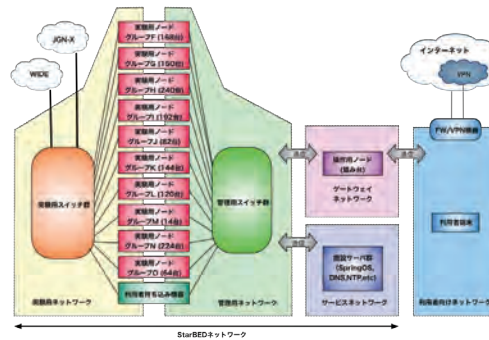


StarBED の舞台裏

StarBED を利用する方が普段意識しない
StarBED 運用の裏側を、幾つかの統計データ
を通してご紹介します。

StarBED は 1398 台の PC サーバから構成される大規模なネットワークエミュレーション基盤環境ですが、その環境を多くの方に利用してもらうために運用スタッフも日々努力しています。

StarBED の設備構成



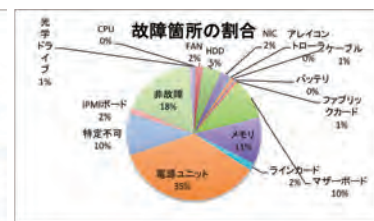
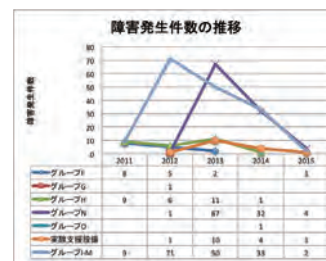
グループ名	PCサーバの型名	台数	導入年
グループF	NEC Express5800 110Rp-1	168台	2006年
グループG	Proside Amazest ne920	150台	2007年
グループH	HP ProLiant DL320 G5p	240台	2009年
グループI	Cisco UCS C200 M2	192台	2011年
グループJ		829台*	
グループK		144台	
グループL		120台	
グループM		14台	
グループN	DELL PowerEdge C6220	224台	2013年
グループO	SaMicro SM15000-XE	64台	2013年

ハードウェア障害統計データ

利用者からの問い合わせ、もしくは運用スタッフが発見した障害報告のうち、ハードウェア障害に絞ったものの統計データを紹介します。(ソフトウェア障害は含まれていません)

過去3年（2012～2014年度）
で296件の障害報告（8.2件/月）
がありました。

機種を問わず、故障箇所としては電源ユニットが最多であることが分かります。



StarBED 利用統計データ

StarBED の利用登録、PC サーバの予約登録の情報から得られた統計データを紹介します。

サーバグループの新規導入による影響もありますが、サーバ予約は年度の半ばから終わりにかけてピークを迎える傾向があるようです。また、新しいグループの利用率が比較的高いことが分かります。

